



たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～

少しずつ秋の気配が近づいてきました。子どもたちは、落ち葉や紅葉に気がついて自然物を使って遊びを楽しむようになりました。

また、園の畑には大きなサツマイモをはじめ、たくさんの野菜が育ち、観察したり、収穫したりしました。栽培活動を通して、多様な力が身につけてきたように思います。子どもの育ちを捉えながら自然とのかかわりの大切さを痛感しています。

連続した活動の中から学ぶ

～主体的・対話的で深い学びを大切に～

楽しみにしていたサツマイモの収穫



教師は、畑の中を安全な環境に整え、子どもたちがいつでも入って遊びや活動ができるようにしています。子どもたちの気づきが学びへとつながります。

サツマイモを育て、収穫を行った後は、様々な活動を続けました。この連続した活動の繰り返しで子どもの見る・聴く・考える・話す・やってみる等の学びを深めています。

重さを計測（4歳児）



さらなる気づきにつながるように、教師は子どもの「なぜ?」「どうして?」を一緒に調べたり、解決したりしていきます。常に対話することを大切にしています。



収穫後の観察、数を確認（3歳児）

収穫した野菜は、大切に扱いながら次の活動につなげました。

火起こし準備



焼き芋大会（5歳児を中心に）

火起こし体験



仲間と一緒に喫食



バザー事前準備



野菜バザー（5歳児）
「いらっしゃいませ。」

社会体験として



「1つ100円です。」

収穫した野菜を使って

愛ママのマジカルクッキング〜♡

「できたておいしいね。」



枝豆の収穫（4歳児）



愛先生が扮する愛ママキッチンが盛況です。『愛ママレストラン』のメニューは子どもたちの大人気に♡「愛ママ作って〜。」の注文が入ります。小さなお客様からのオーダーは、まだまだ続きそうです♡子どもたちからはお礼の手紙が届いています。これが私の原動力です♡たくさん食べて大きくなってね。

5歳児 親子旅行 『京都水族館の巻』 〜野外学習を大切に〜



保護者の方の素敵なかかわりを紹介します。「お魚に何かついてるよ！」など、子どもたちの興味を引き出す分かりやすい言葉掛けをされていました。園からは、さらに興味が深められるようにワークシートを用意しました。クイズ形式で楽しく生き物の観察を楽しむためのツールです。お家の方が一緒に活用してくださいました。



『ワークシートを通して交流する5歳児』



『発見が詰まったクラス新聞』

野外活動も繰り返していくことでさらに学びが深化します。園に戻ってきてからは、活動の振り返りを行いました。ワークシートを通して話し合いをしました。様々な発見があり、「京都水族館：ほし組・そら組新聞」が完成しました。この気づきがさらに知りたいという興味・関心につながっていきます。



☆あさがおイラスト：はるさん

ぶんせき まつなが あい
（文責 松永 愛）